

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ 世界インカム資産ファンド (毎月決算型)」は、このたび、第30期の決算を行いました。

当ファンドは日本を含む世界の様々な債券、株式等を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



交付運用報告書

第25期 (決算日 2018年 4月18日)

第26期 (決算日 2018年 5月18日)

第27期 (決算日 2018年 6月18日)

第28期 (決算日 2018年 7月18日)

第29期 (決算日 2018年 8月20日)

第30期 (決算日 2018年 9月18日)

作成対象期間 (2018年 3月20日～2018年 9月18日)

第30期末 (2018年 9月18日)

基準 価 額	9,472円
純 資 産 総 額	48百万円
第25期～第30期	
騰 落 率	6.1%
分配金(税込み)合計	600円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100
(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

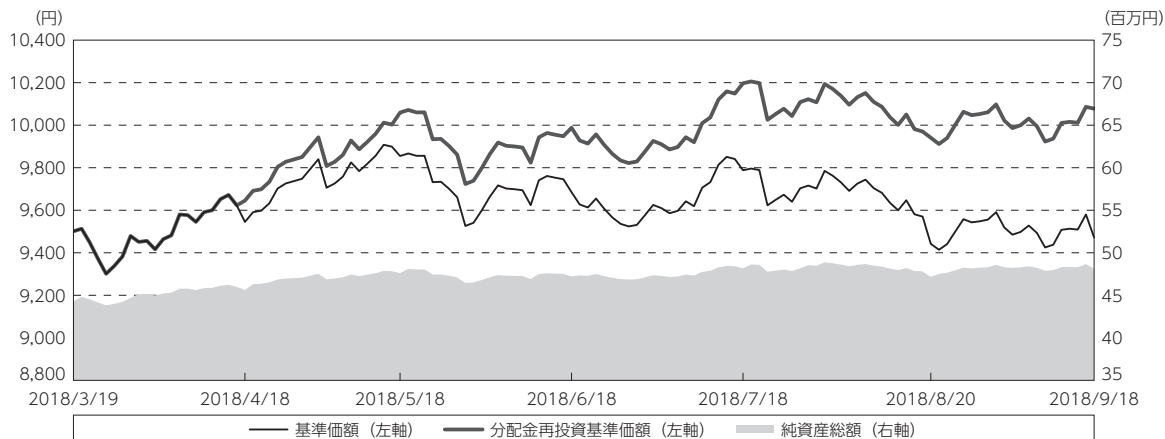
ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

UD 見やすく読みまちがえにくい
FONT ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年3月20日～2018年9月18日)



第25期首：9,501円

第30期末：9,472円 (既払分配金(税込み)：600円)

騰落率：6.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2018年3月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・日本を含む世界の様々な債券、株式などを実質的な主要投資対象とし、債券、株式の銘柄選択に当たって高いインカムに着目した結果、株式の配当や債券のクーポン収入を通じて着実にインカム・ゲインを獲得したことが基準価額の上昇要因となりました。
- ・債券、株式などの資産配分については、自由度の高い運用手法を用いて積極的に変更した結果、当作成期において価格が上昇した米国を中心に株式の組入比率を高位としていたことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・実質外貨建資産について対円での為替ヘッジを行わなかったため、作成期を通じてみると為替市場で円安/米ドル高となったことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・トルコの情勢不安に端を発した投資家心理の悪化を受け、保有している一部の金融劣後債や、南アフリカ国債を中心とした新興国債券の価格が大きく下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

(2018年3月20日～2018年9月18日)

1万口当たりの費用明細

項 目	第25期～第30期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 40	% 0.422	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(3)	(0.027)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0.379)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.054	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.014)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(4)	(0.040)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	45	0.476	
作成期間の平均基準価額は、9,589円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

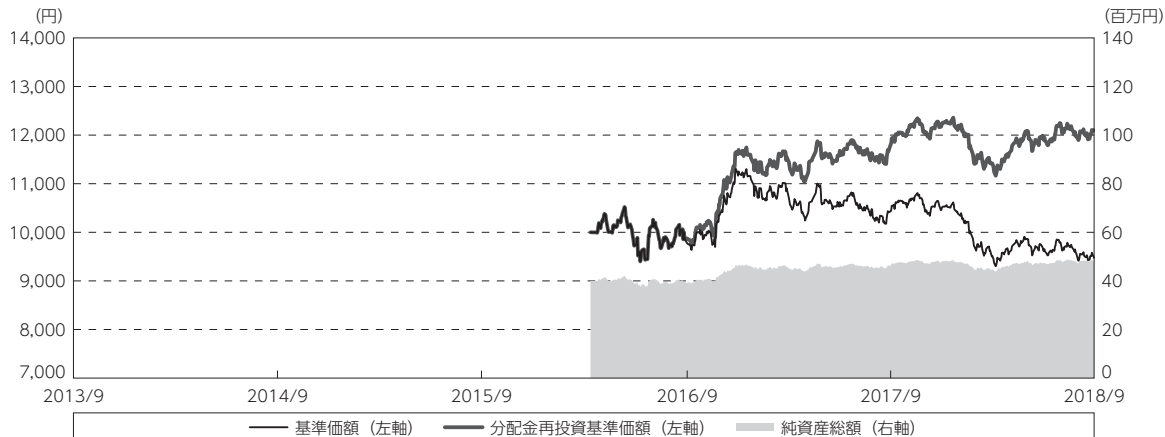
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(2013年9月18日～2018年9月18日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 当ファンドの設定日は2016年4月1日です。

	2016年4月1日 設定日	2016年9月20日 決算日	2017年9月19日 決算日	2018年9月18日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,773	10,431	9,472
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	100	1,200	1,200
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 1.3	19.6	2.5
純資産総額 (百万円)	40	39	46	48

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2016年9月20日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) 当ファンドは、自由度の高い運用手法を用い、市況動向に応じて債券、株式等の資産配分を積極的に変更する運用を行うため、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。

(2018年3月20日～2018年9月18日)

投資環境

<株式市場>

S & P 500 指数 (米国)	+7.1%	F T S E 100 指数 (英国)	+3.7%
D A X 指数 (ドイツ)	△0.5%	C A C 40 指数 (フランス)	+2.7%

※株価指数の騰落率は当作成期末時点 (対前作成期末比) の数値です。

当作成期間中の世界の株式市場は、米国や日本などの主要先進国を中心に上昇した一方、欧州やその他の地域では高安まちまちの展開となりました。

作成期を通じて米中貿易摩擦の動向に大きく左右される展開が続きました。①米国・欧州を中心に総じて良好な企業決算、②米国の利上げペース加速への懸念の後退、③米国をはじめとする底堅い世界景気一などが上昇要因となった一方、①北朝鮮やシリア情勢などの地政学リスク、②イタリアやドイツなどの政局不安、③トルコリラの急落に端を発する新興国市場の混乱一などが下落要因となりました。

<債券市場>

米国10年国債利回り 3.06% (前作成期末 2.86%) 英国10年国債利回り 1.57% (同 1.45%)

※上記は当作成期末の数値です。

当作成期間中、長期金利は堅調な経済指標と貿易問題や地政学リスクへの懸念に挟まれて価格変動性の高い展開となりました。作成期間中は、イタリアの財政問題やトルコ問題をはじめとする地政学リスクへの警戒感から安全資産として米国国債やドイツ国債が買われる (金利は低下) 局面が見られました。日本では、2018年7月末の金融政策決定会合で日本銀行が長期金利の変動幅が拡大することを容認したことを受けて金利は一時、大きく上昇 (債券価格は下落) しました。8月以降は貿易問題や地政学リスクに対する過度な懸念が薄れる中、米欧を中心に堅調な経済指標の発表が相次いだことから米国の追加利上げに対する懸念が高まった結果、金利は上昇基調での推移となり作成期末を迎えました。

<為替市場>

<対円為替レート>

1米ドル = 111円83銭 (前作成期末 105円93銭)

※当作成期末の数値です。

為替市場では、米ドルが対円で上昇しました。作成期を通じてみると、貿易問題や地政学リスクへの懸念が高まる局面で投資家のリスク回避的な姿勢が強まり、一時的に米ドルが対円で下落する局面がありました。一方、米国の良好な景気見通しを背景とする日米の金利差拡大継続との見方が米ドルを下支えし、さらに作成期の後半には米中貿易問題をはじめとする地政学リスクへの過度な懸念が後退する中、米ドルは対円で上昇基調を強めました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年3月20日～2018年9月18日)

インベスコ 世界インカム資産 マザーファンド (以下、マザーファンドといたします。) を高位に組み入れ、日本を含む世界の様々な債券、株式などに実質的に投資しました。債券、株式の銘柄選択に当たっては、高いインカムに着目しました。また、債券、株式などの資産配分は、自由度の高い運用手法を用いて積極的に変更を行いました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信) (以下、マネープール・ファンドといたします。) を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ グローバル・インカム・ファンド クラスC-QD投資信託証券 (米ドルヘッジ) に投資を行いました。同外国投資信託では、主として日本を含む世界の様々な債券、株式などに投資を行い、各資産への配分比率を機動的に変更しました。具体的には作成期を通じて株式とハイ・イールド債券の組み入れを高位としました。国別配分では、米国、英国、ドイツ、フランスを中心に運用を行いました。

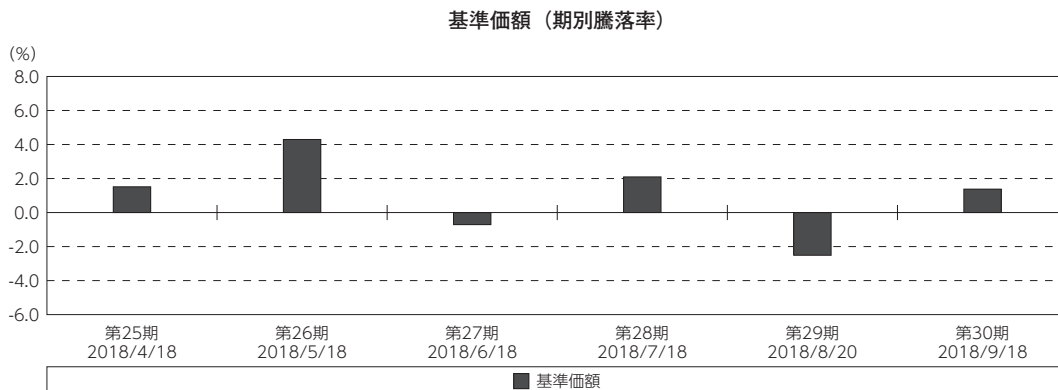
マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年3月20日～2018年9月18日)

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

下記のグラフは、当作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率 (分配金込み) です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(2018年3月20日～2018年9月18日)

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第25期から第30期まで1万口当たり100円(全て税込み)とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期	第30期
	2018年3月20日 ～2018年4月18日	2018年4月19日 ～2018年5月18日	2018年5月19日 ～2018年6月18日	2018年6月19日 ～2018年7月18日	2018年7月19日 ～2018年8月20日	2018年8月21日 ～2018年9月18日
当期分配金	100	100	100	100	100	100
(対基準価額比率)	1.037%	1.005%	1.022%	1.011%	1.048%	1.045%
当期の収益	-	-	-	-	-	59
当期の収益以外	100	100	100	100	100	40
翌期繰越分配対象額	6,200	6,100	6,066	5,966	5,866	5,826

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、日本を含む世界の様々な債券、株式などに実質的に投資します。債券、株式の銘柄選択に当たっては、高いインカムに着目します。債券、株式などの資産配分は、自由度の高い運用手法を用いて積極的に変更を行います。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ グローバル・インカム・ファンド クラスC-QD投資信託証券(米ドルヘッジ)に投資を行います。同外国投資信託では、主として日本を含む世界の様々な債券、株式などに投資を行い、各資産への配分比率を機動的に変更する方針です。市場動向に応じて債券、株式、キャッシュなどへの資産配分を積極的に変更し、発行体企業のファンダメンタルズ分析やリスク・リターンのバランスを考慮しながら銘柄選定を行う方針です。投資先のセクターでは、金融セクター、特に金融劣後債に魅力的な投資機会があると考えており、中長期的に強気の見通しを持っています。株式の銘柄選定では、バランスシートが健全かつ魅力的な配当水準が期待できる企業に投資を行います。現状は、クレジット市場の利回りがすでに低く、各国中央銀行の金融引き締めが予見される中で、やや慎重なアプローチを取っているため、ファンドではキャッシュや先進国国債などの流動性資産を多く保有しています。引き続き、積極的に資産配分を調整し、相対的に高いインカム収益と中長期的な値上がり利益の獲得を目指します。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

お知らせ

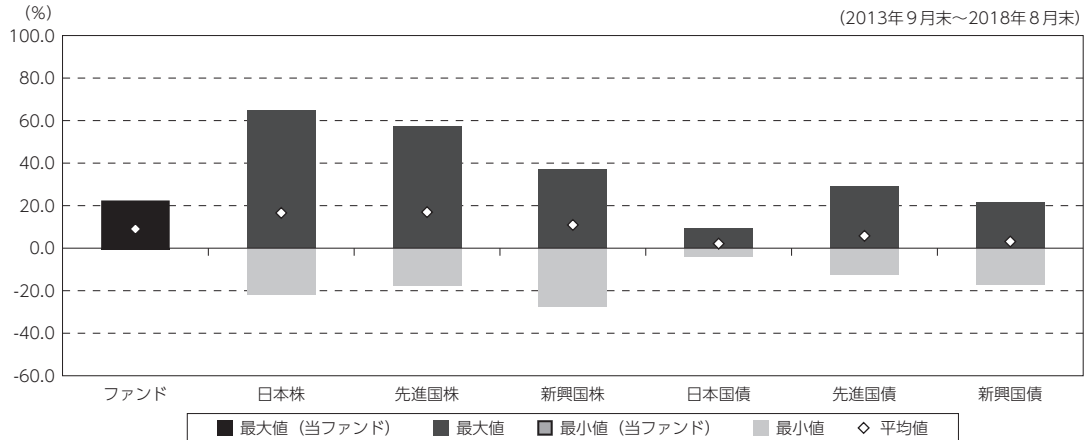
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2026年3月18日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の様々な債券、株式等に実質的に投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ 世界インカム資産ファンド (毎月決算型)	「インベスコ 世界インカム資産 マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ 世界インカム資産 マザーファンド	別に定める投資信託証券 [*] へ投資し、主として日本を含む世界の様々な債券、株式等に実質的に投資します。 ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ グローバル・インカム・ファンド クラスC-QD投資信託証券 (米ドルヘッジ) です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として日本を含む世界の様々な債券、株式等に実質的に投資します。 ・債券、株式の銘柄選択にあたっては、高いインカムに着目します。債券、株式等の資産配分は、自由度の高い運用手法を用いて積極的に変更を行います。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	原則として毎月の決算時 (毎月18日、該当日が休業日の場合は翌営業日) に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	9.0	16.6	16.9	10.9	2.1	5.8	3.1
最大値	22.4	65.0	57.1	37.2	9.3	29.1	21.4
最小値	-0.7	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年9月から2018年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。なお、当ファンドは2017年4月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2018年9月18日現在)

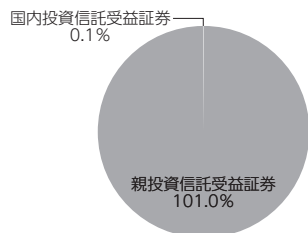
○組入上位ファンド

銘柄名	第30期末
インベスコ 世界インカム資産 マザーファンド	101.0 %
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	0.1
組入銘柄数	2銘柄

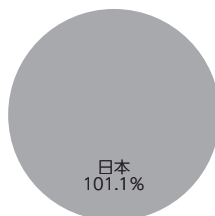
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

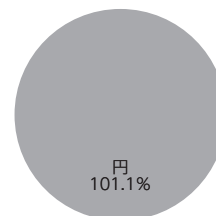
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

純資産等

項目	第25期末	第26期末	第27期末	第28期末	第29期末	第30期末
	2018年4月18日	2018年5月18日	2018年6月18日	2018年7月18日	2018年8月20日	2018年9月18日
純資産総額	45,613,587円	47,611,576円	47,221,806円	48,159,981円	47,170,465円	48,117,367円
受益権総口数	47,790,171口	48,313,749口	48,756,458口	49,201,465口	49,956,431口	50,798,019口
1万円当たり基準価額	9,545円	9,855円	9,685円	9,788円	9,442円	9,472円

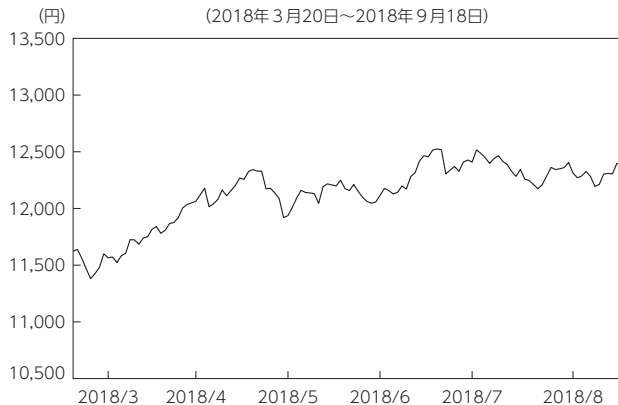
* 作成期間 (第25期~第30期) 中における追加設定元本額は4,235,294円、同解約元本額は62,656円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ 世界インカム資産 マザーファンド

【基準価額の推移】

(2018年3月20日～2018年9月18日)



【組入上位ファンド】

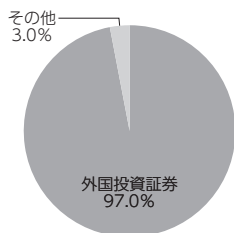
(2018年9月18日現在)

銘柄名	第5期末
インベスコ グローバル・インカム・ファンド クラスC-QD	97.0%
組入銘柄数	1銘柄

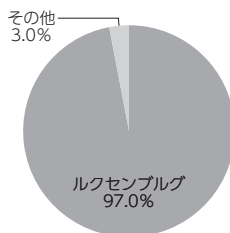
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

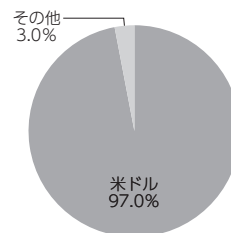
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

【1万円当たりの費用明細】

(2018年3月20日～2018年9月18日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、12,067円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

———— (参考情報) ルクセンブルグ籍外国投資法人
インベスコ グローバル・インカム・ファンド ————

「インベスコ 世界インカム資産 マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ グローバル・インカム・ファンド」の直近の情報は以下の通りです。

【組入上位 10 銘柄】

(2018年2月28日現在)

	銘柄名	種別	比率 %
1	Invesco Short-Term Investments Co Global Series - Euro Liquidity Portfolio	オープン・エンド型投資信託	9.0
2	United States Treasury Note/Bond 2% USD 31/01/2020	債券	3.8
3	United States Treasury Note/Bond 2% USD 30/11/2022	債券	3.7
4	United States Treasury Note/Bond 2.75% USD 15/11/2047	債券	3.5
5	United States Treasury Note/Bond 2.25% USD 15/11/2027	債券	2.2
6	Mexican Bonos 7.5% MXN 03/06/2027	債券	1.9
7	Republic of South Africa Government Bond 8.75% ZAR 28/02/2048	債券	1.3
8	JPMorgan Chase & Co	株式	1.3
9	Orange SA	株式	1.1
10	Royal Dutch Shell Plc - A Shares	株式	1.1
組入銘柄数		257銘柄	

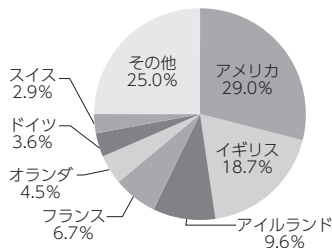
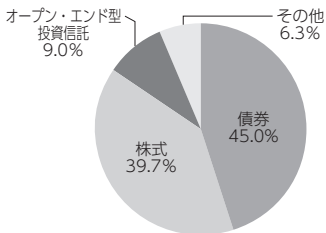
(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【資産別配分】

【国別配分】

【通貨別配分】



必要な情報が開示されておりません。

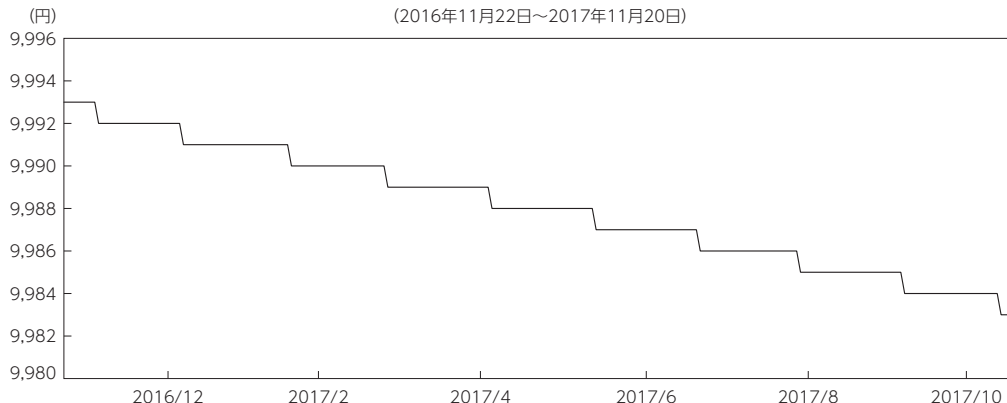
(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)

【基準価額の推移】

(2016年11月22日～2017年11月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2016年11月22日～2017年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.003 (0.003)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	0	0.003	
期中の平均基準価額は、9,988円です。			

(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2017年11月20日現在)

2017年11月20日現在、有価証券等の組み入れはございません。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

○TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

○MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン GBI – EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

JP モルガン GBI – EM グローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJP モルガン GBI – EM グローバル・ダイバーシファイド (米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社 (「JP モルガン」) に帰属しております。JP モルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JP モルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。